

木津川市教育委員会会議録

平成27年第9回木津川市教育委員会定例会

○日 時：平成27年9月30日（水） 午前10時00分から11時34分まで

○場 所：上狛小学校 1階 会議室

○出席者：森永重治教育長、有賀やよい委員、小松信夫委員、高橋史代委員、佐脇貞憲委員
（事務局）森本教育部長、加藤理事、中川理事、竹本教育次長兼学校教育課長、
市川社会教育課長、石井教育施設整備室長、福井文化財保護室長

1. 開 会 教育長

教育長あいさつ

2. 学校長あいさつ

上狛小学校の2学期現在の児童数は、188名で136家庭となっている。

学校区内の住民の方は、教育に非常に理解があり、学校教育を積極的にサポートしていただいている。児童は、そういった温かい雰囲気の中で育ってきているので、何についても努力して頑張ろうという意欲を持っている。

ただし、学力的な課題を抱えている児童もいるので、個々に目を向けて状況を分析し、ホップアップ学習等の事業も活用しながら改善に向けて取り組んでいる。また、今年度は、上位層もさらに伸ばす工夫を考えている。

もう1つの課題として、コミュニケーション能力の向上に関して国語科を中心に話す・聞く力を高める取り組みを行っている。

また、学校も含めた日常生活でのあいさつを重視した取り組みを行っている。2学期は、次週より小・中・PTAが連携して、あいさつ運動強化週間を設ける。

上狛小学校の利点は、少人数である。少人数教育のメリットを最大限に活かした異年齢の少人数活動を特色として校外学習等を行っている。

教育環境面では、教育用コンピュータや電子黒板、デジタル教科書等が整備されたので、これらのICTを活用し、子ども達の学習意欲を高めて学力の向上につなげていく。

また、洋式化したトイレについては、洋式トイレの利用率は非常に高く、まず、児童は洋式トイレを利用すると各学年担任から報告を受けている。

最後に本校の子ども達は、数年来、陸上競技に興味を持って取り組んでおり、上狛小学校陸上クラブに参加している児童の保護者を中心に当番を組んで指導にあたっている。成果も出ており、陸上交歓記録会ではリレーで優勝、8月に行われた全国小学生陸上大会では、京都府代表で男子1名がハードルで出場した。

26日に開催された京都府小学生陸上南部予選会が開催され、リレーで1位、男子

100m走で1位と3位、女子100m走で1位と4位、女子幅跳びで6位入賞の好成績であった。これらが子ども達の自信につながり、学習にも良い影響が出ている。

3. 前回会議録の承認

教育長が、第8回定例会議の会議録の承認について提案された。
委員より異議なく承認された。

4. 議事

《議案第45号 児童及び生徒の入学すべき学区を指定する規則の一部改正について》

教育長が、事務局に説明を求めた。

事務局が、議案書に基づき説明を行った。

〔説明〕

相楽都市計画事業木津駅前土地区画整理事業の換地処分公告に伴う本市内の区域及び町名称変更に伴い、所要の改正をするもの。

【質疑応答】

委員からの質疑は無かった。

【採決】

教育長が意見を聴取し、全員一致で可決された。

5. 教育長報告（平成27年8月27日～平成27年9月30日）

(1) 教育長が、事業報告に基づき報告を行った。

中でも次の点について、詳細の説明があった。

- ・8月28日から市議会が開会した。9月8日から一般質問があった。教育委員会に関する質疑と答弁については、次回教育委員会で報告する。
- ・9月14日と15日に加茂地区、山城地区の敬老会が開催された。
- ・9月26日は、小学校の運動会が開催された。天候に恵まれ、子ども達が元気に頑張っていた。
- ・9月28日、29日は、文化財保護審議会があり文化財保存活用計画を検討している所である。

【質疑応答】

委員からの質疑はなかった。

6. その他

(1) いじめ調査概要の報告について

平成27年度第1回いじめ調査概要について、資料に基づき事務局が報告した。
報告は、次のとおりであった。

〔報告〕

1学期に行ったいじめアンケート及び府のいじめ調査の概要について報告する。

昨年度より1学期、2学期ともに児童・生徒にアンケート調査を行った後に全員から聞き取り調査を行い、その結果を反映して、各校でいじめとして認知した件数を集約したものである。

第1段階から第3段階の定義は、第1段階は、法のいじめの定義に則して、いじめと認知されるもの全てを指す。いじめの定義とは、一定の人間関係にある他の児童・生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為であって、当該行為の対象となる児童・生徒が心身の苦痛を感じているものと定義されており、即ち、いやな思いをしたものとしてアンケートを取っている。その内容を精査して第1段階の集計をしている。

第2段階は、第1段階の中で教職員が組織的、継続的に指導や経過観察の必要があると認めたもの、第1段階で未解消のものである。

第3段階は、第2段階の中で、いじめにより児童・生徒の生命、心身、財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるものあるいは、いじめにより年間30日間以上の欠席を余儀なくされている疑いがあると定義されている。

第3段階は、小・中学校共に無かった。

集計結果による課題としては、市教委として、各学校にいじめの認知方法やガイドラインを指導してきたが、まだばらつきがある。2学期は、更に判断基準の統一を指導して精度を高めていく。

【質疑応答】

委員からの質疑は次のとおりであった。

委員：いやな思いをした数といじめの第1段階の認知件数が整合していない学校があるが、何故か。

事務局：いじめアンケートといじめ認知時期の違いによるもの。アンケート実施時以降において、いじめと認知する事案があったことによる。

委員：集計からは、同じアンケートでも学校により、いじめの認知に差異があると理解してよいのか。

事務局：同じ事象でも、学校によりいじめと認知している所とそうでない所がある状況である。今後は、同じレベルで認知できるように統一化を図る。

委員：集計結果は、各学校に全て伝えるのか。

事務局：これまでは、全体の集計結果のみであったが、今回より学校毎のアンケートといじめ認知数の結果を一覧表形式で示す予定である。

委員：いじめ調査の未調査の人数は、解消はできるのか。

事務局：未調査の人数は、不登校であるため、家庭訪問等で保護者の協力が得られない場合は、調査が出来ていないのが現状である。

委員：いじめで不登校となっている児童・生徒のアンケートが出てこない場合が

あるということか。

事務局：お見込みのとおり。いじめの事象は解消しているが、いじめを起因として不登校状態が続いている子どもをどうケアしていくかが大きな課題である。

なお、いじめによる児童・生徒の生命の危険やいじめによって不登校が30日以上続いている等の重大事案が発生した場合の対応について、まず教育委員会が調査を行って市長に報告をし、市長が更なる調査が必要と判断した場合は、市長部局に第三者委員会を設置して調査を行う「木津川市いじめ再調査委員会条例」が9月議会で可決されたところである。

委員：いじめの認知に関して、担任の判断のみに委ねられていることはないか。

事務局：学校毎にいじめ対策委員会を設置しているので、そこで最終判断を行うように指導している。

(2) 平成27年度全国学力・学習状況調査について

平成27年度全国学力・学習状況調査について、資料に基づき事務局が報告した。

報告は、次のとおりであった。

[報告]

今年度の全国学力・学習状況調査は、4月21日に行われた。

教科に関する調査は、例年の国語A、B、算数A、B、数学A、Bに加えて理科についても悉皆で行われた。理科については、3年に1回程度実施される。

学習状況調査については、小学校6年生と中学校3年生に質問紙の形式で87の質問項目に回答する形で実施された。

教科に関する調査では、本市の児童・生徒の正答率は、全ての教科で全国平均を上回っており、年々、向上傾向にある。特に小学校の算数A、B、中学校の国語A、B、数学A、Bについては、全国の上位レベルに達している。

今後、小学校については、個々の児童に視点を当ててより確かな基礎的・基本的な知識、技能の更なる定着を目指す。中学校については、数学における活用の力が高い水準であり、国語における活用の力も更に伸ばしていくように取り組む。

次に、学習状況調査における特徴的な部分を報告する。

まず、平日の家庭学習習慣は、小・中学校共に定着が進んでいる。特に全くしない児童・生徒が減少傾向にある。各学校が家庭学習の手引きを作成して啓発している成果が表れており、中学校では、宿題を中心とした家庭学習習慣形成に向けた取り組みの成果が出ている。

休日における家庭学習時間は、中学校において増加傾向にある。

続いての携帯電話やスマートフォンに関する質問では、所持率が上昇傾向にあることが伺える。今後は、使用方法等についての指導が必要になってくる状況である。

続いての「自分には、よい所があると思うか」という自尊心における質問では、少しずつではあるが向上傾向が見受けられる。今後も自己肯定感を高めながら生活する取り組みや

道徳教育の充実を目指す。

続いての「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか」と「学校のきまりを守っているか」の規範意識に関する質問では、いずれも向上が見られる。更なる意識の向上を目指す。

【質疑応答】

委員からの質疑は、次のとおりであった。

委員：学習状況調査の家庭学習時間であるが、学習塾等の時間も含めているのか。

事務局：この質問の回答の中には、学習塾や家庭教師に教わっている時間も含めて回答することとなっている。

委員：木津川市の小・中学校の学力は、一時下がって来ていたが近年向上しており、これらの傾向をどう分析しているのか。

事務局：目当ての提示や振り返りを必ず行うこと、聞く力をつけることに重点を置く等の授業改善を行ってきており、それらの成果が出てきていると分析している。

(3) 今後の行事予定について

事務局が、今後の行事予定について説明した。

(4) 最近の主な新聞記事について、教育長が説明した。

(5) 次回教育委員会日程について

次回委員会は、平成27年10月22日（水）午後3時に開催することを確認した。

教育長が、会議を閉会した。

[会議終了後、授業参観、校内視察及び給食の試食を実施した]